

Press Release

報道関係者各位

2025年7月28日

一般社団法人 日本イノベーション融合学会

検定事務局 株式会社ネクストエデュケーションシンク

シリーズ累計受検者数 7.5 万人、受検者所属企業 1200 社超 「DX ビジネス検定(第 9 回)」申込 7/29 開始。 DX や生成 AI を自社のビジネス創造・変革の手段として理解し、 実践できる社員人財を育成。【日本のビジネス変革のための検定】

主催：一般社団法人 日本イノベーション融合学会 検定事務局運営：株式会社ネクストエデュケーションシンク

一般社団法人 日本イノベーション融合学会 (IFSJ) および株式会社ネクストエデュケーションシンクは、政府・企業・学校を含めて国策として推進している、DX ビジネス変革の実現に向け、すべてのビジネスパーソンが「DX・生成 AI 活用ビジネス人財」として活躍することを目指し、リスクリングや DX ビジネス知識・ビジネス創造力を身に着けるために役立つ「DX ビジネス検定 (TM)」を主催・運営しています。次回第 9 回検定の受検申し込みが、2025 年 7 月 29 日より開始されますので、ご案内いたします。

<受検日>法人：2025 年 11 月 13 日(木)／個人：11 月 30 日(日)

※「DX 検定(TM)」シリーズとは 日本イノベーション融合学会 (IFSJ) 主催による、これからの我が国の社会の発展・ビジネス全般に必要な、DX・生成 AI 時代に生きる全ての企業人を DX 人財へと導くことを目的とした最新の検定シリーズで、現在「DX 検定(TM)」と「DX ビジネス検定(TM)」の 2 つの検定が実施され、7 月現在でシリーズ累計受検者数 7.5 万人、受検者所属企業 1200 社を達成しました。

(<https://nextet.net/dxkentei/companylist/>)

※株式会社ネクストエデュケーションシンクは、本検定の事務局を運営しております。

<内容>

世界中でデジタル技術の革新が加速する中、DX や生成 AI を単なる技術導入ではなく、国内外での企業競争力強化のための自社組織・業務変革ビジネスもたらすチャンスとして捉えることが強く求められる時代となっています。

経済産業省においても、情報処理技術者試験の見直しが進んでおり、生成 AI (人工知能) など技術の進化に合わせたデジタル人材像を定義し、国を挙げて企業の DX をより強力に推進する人材育成体系の確立が進んでいます。

しかし、多くの企業では DX 推進する担当が IT 部門だけに限定され、目的である企業組織全体でのビジネスモデル変革・価値創造には至っていないのが現状です。

こうした課題を解決する第一歩として企業導入が進む「DX ビジネス検定(TM)」(以下、本検定)は、DX・生成 AI 活用をビジネス変革の手段として理解し、実践できる社員人財のスピード感をもった育成・意識変革を目的としています。

シリーズで累計受検者数 7.5 万人、受検者所属企業数 1,200 社を突破し、日本企業の DX 推進を支える人財育成の重要な指標として確立されています。

本検定は企業における「デジタル技術力とビジネス推進力を併せ持つ人財」(ビジネスアーキテクト)のニーズ急増に対応し、自社ビジネスと「DX」の関わりを知り、世界や国内の先進のビジネスモデルやDXの成功事例を多数理解することで、すべてのビジネスパーソンが、これからのデジタル時代のDX人財として活躍する「DXビジネス推進人財」「ビジネスアーキテクト」「ビジネス価値創造人財」となることを目指すことが可能です。

企業がDXを推進する専門性を持った人財を確保・育成するために、人財のデジタルスキルの可視化、学習の成果を可視化する研修効果測定や、DXレベル認定を目標にする等に活用いただけます。

受検対象は、すべてのビジネスパーソンの方々であり、企業の新入社員、若手社員、営業社員、中堅層からベテラン層、管理職、経営層の皆様まで。また、これからのDX時代で活躍を目指す社会人の方、さらには大学・専門学校生の方々のDXビジネスリテラシー育成や、就活にそなえたビジネス知識の育成にも役立つ検定となっています。

企業の人財育成用途では、経産省・IPA策定の「デジタルスキル標準 ver.1.2」の5つの人材類型とのレベル対応にも企業制度に合わせてご活用いただけます。

カテゴリ	分類	説明	主なキーワード
DX 基礎領域	01 DXの基本	DXの基礎用語や事例	DX、攻めのDX、デジタルトランスフォーメーション、非連続イノベーション、共通プラットフォームなど
	02 デジタル技術	デジタル技術用語や事例	IoT、5G、API、アジャイル開発、Maas、マイクروسソフトなど
	03 データと分析	データ、分析用語や事例	データサイエンス、BI、ETLツール、非構造化データ、NoSQL、クラウドファンディングなど
	04 マーケティング	マーケティング用語や事例	O2O、OMO、リードジェネレーション、ナッジ理論、リードチャリング、カスタマージャーニー、インフルエンサーなど
DX ビジネス モデル	05 消費者の状況とビジネス環境	ビジネスモデルの前提になる消費者の状況とビジネス環境の用語や事例	ネットワーク外部性、トキ商材、モジュール化、レイヤー化、リードレイス、UI、UX、デザイン思考など
	06 戦略モデル	ビジネスモデルのうち、戦略モデルの用語や事例	媒介型プラットフォーム、シェアリングエコノミー、クラウドファンディング、消耗品モデル、アズ・アサービス、イネーブラーなど
	07 オペレーションモデル	ビジネスモデルのうち、オペレーションモデルの用語や事例	SPA、事例リョウダー、看板(デジタルセル)、オープンイノベーション、プロシューマー、顧客ライサイクル、アップセルなど
	08 収益モデル	ビジネスモデルのうち、収益モデルの用語や事例	レベニューシェア、サブスクリプション、リフスグロフション、アフター、カスタマーロイヤリティ、フリーモデルなど
DX ビジネス 事例	09 ビジネスモデル事例(デジタル集客系)	デジタル集客、マッチング、マーケットプレイス(デジタル・リアル商材)ビジネスに関する事例	C2C取引サービス、マッチングサービス、クラウドファンディング等を含む企業、シェアリングサービス企業、SNSサービス企業など
	10 ビジネスモデル事例(デジタル商材系)	デジタル商材(リアルとの融合含む)ビジネスに関する事例	クラウドファンディングサービス企業、バーチャルサービス企業など
	11 ビジネスモデル事例(リアル+デジタル融合)	リアルビジネスとデジタルの融合に関する事例	リフスグロフションサービス企業、D2C企業、ネットスーパー、オンスムンサービス、デジタル化商材など
	12 ビジネスモデル事例(リアル)	リアルビジネスの事例	SPA企業、工活動企業、ブルーオーシャン戦略を実施する企業など

▲DXビジネス検定(TM)シラバス

この度、最新のDXビジネス内容に更新した「第9回「DXビジネス検定(TM)」申し込み」が2025年7月29日正午より開始されますので、ご案内します。

申し込み期間：
2025年7月29日(火)12時~10月28日(火)12時

検定日程：
 ・法人：2025年11月13日(木) 11:00~12:00 もしくは 13:00~14:00(どちらかに受験)
 ・個人：2025年11月30日(日) 13:00~14:00

出題分野は添付の学習シラバス(画像)をご覧ください。
 ※株式会社ネクストエデュケーションシンクは、本検定シリーズの事務局を運営しております。

また本検定は、企業の人事・人財育成にもご活用いただけますよう、企業でスキル認定する上での標準指標を発表し、レベル認定制度を実施しており、成績優秀者はスコアに応じ、社内外で実践力を評価できるように、レベル認定証が発行されます。レベル認定された方には、ブロックチェーン技術を使ったスキルのデジタル証明・認証である「オープンバッジ」(2年間有効)が付与されます。社内認定や、名刺等にも活用可能となります。



▲オープンバッジ画像サンプル

この認定を目指される企業様が增加傾向のため、事前学習教材として、検定準拠のオンラインで場所を問わず学習できる「DX Study Biz(TM)eラーニング2025」とのセットでのお申し込みが増えていきます。

(人材のDXビジネススキルレベル評価でも活用できる、企業の DX 人材像別の標準スコア指標の詳細はこちら：

<https://www.nextet.net/column/dxkenteiseries04.html>)

<レベル認定概要>

スコア 800 以上⇒「DX ビジネス・プロフェッショナル レベル」認定

スコア 700 以上⇒「DX ビジネス・エキスパート レベル」認定

スコア 600 以上⇒「DX ビジネス・スタンダード レベル」認定

まずは全社員で「DX ビジネス・スタンダードレベル」を目指し、次の目標として「DX ビジネス・エキスパートレベル」、最終的には「DX ビジネス・プロフェッショナルレベル」を目指していただくことをお勧めしています。

DX 検定シリーズの受検者所属企業の一覧はこちらからご覧ください。

<https://nextet.net/dxkentei/companylist/>

検定受検の詳細・お申込みは以下より確認可能です。

▼DX ビジネス検定(TM) 公式ページ

<https://www.nextet.net/kentei/dxbiz/>

■検定概要

検定名	DX ビジネス検定(TM) <「DX 検定(TM)」シリーズ>
試験概要	DX 時代の全ての企業人財（※ビジネスパーソン）の DX ビジネス力を全分野から統合的に可視化する検定。また、基礎的な DX ビジネス分野から、さらに生成 AI 知識も含めて DX ビジネス理論、マーケティング用語、DX ビジネスモデル、DX ビジネス事例などから幅広く出題される「デジタルスキル標準」にも対応した検定です。
動作環境	次のブラウザを推奨しています。※Macintosh では動作保証はしておりません。 <PC> Google Chrome、Edge、Firefox
レベル認定について	成績優秀者はスコアに応じ、以下のレベル認定証が発行されます。(1000 ポイント満点) スコア 800 以上⇒「DX ビジネス・プロフェッショナル レベル」 スコア 700 以上⇒「DX ビジネス・エキスパート レベル」 スコア 600 以上⇒「DX ビジネス・スタンダード レベル」
出題問題	最新技術を活用したビジネスモデルや注目事例を中心とした DX ビジネスにかかわる全般の必須知識項目の幅広い範囲から、厳選して出題 ※検定委員会による定期的な検討会により、毎回、最新項目が出題されています。 ※「DX ビジネス検定™公式テキスト」が日本能率協会マネジメントセンターより発売されています。
受検料	一般：6,600 円（税込） <※学校経由の団体申込みは別途、お問合せください> (検定サイトから、①個人申し込み ②法人申し込み が可能です。
開催時期	5 月、11 月の年 2 回 最新情報にて実施 (Web 開催)
第 9 回開催日	法人：2025 年 11 月 13 日(木) (1)11 時～12 時、(2)13 時～14 時のどちらかを選択 ※50 名様以上の団体受験の場合、別途企業向けの検定実施日もご相談ください。 個人：2025 年 11 月 30 日(日) 13 時～14 時 受検所要時間：60 分、96 問
結果発表予定	2025 年 12 月 17 日(水)を予定。 ※また検定実施後の企業向けオプションとして、ご希望により組織分析・全国比較報告等の支援も別途有償にて承ります。

■DX ビジネス検定 (TM) 公式サイト <https://www.nextet.net/kentei/dxbiz/>

■一般社団法人 日本イノベーション融合学会 (IFSJ) サイト <https://www.ifsj.or.jp/>

▼本サービスについてのお問合せ・ご相談はこちらから承ります。

<https://www.nextet.net/contact> (検定事務局運営/株式会社ネクストエデュケーションシンク)

■ 本リリースに関するお問い合わせ

DX 検定(TM)シリーズ事務局

株式会社ネクストエデュケーションシンク内 捧/齋藤(加那)

TEL : 03-5842-5148 FAX : 03-5842-5147 e-mail: ifsj-itbt@nextet.net

ニュースリリースに掲載されている情報(サービスの価格/仕様、内容及びお問い合わせ先など)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。